

# 内田鋼一展

— うつわからの風景 —

2013年5月10日[金]～7月1日[月]

※会期中無休 但し、同時開催展作品入替のため6月3日[月]は閉場

9:30～17:30(最終入館は17時まで)

  
paramitamuseum

パラミタミュージアム

入館料 — 一般 1,000円(4枚セット券3,000円) / 大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

主催 — 公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム

後援 — 中日新聞社、伊勢新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、三重テレビ放送

関連イベント — 6月2日[日] 14:00～ 内田鋼一ギャラリートーク

同時開催 — 伊東深水展 — 本画と素描 —



内田鋼一は1969年愛知県に生まれました。世界の焼物産地での作陶の旅を経て獲得したのは、どこにでもあるが、どこにもない作家独自の表現でした。今回は国内外で高い評価を受け、陶以外の素材をも駆使して造形芸術の表現を拡大しつつける造形作家内田鋼一の原点である「うつわ」を中心に、その国籍を超えた陶の世界を展示します。内田鋼一の代名詞ともいえる壺をはじめ、季節の設えの中で繰り広げられる器と造形作品とのコラボレーションをお楽しみください。



10年後にまた展覧会を…。  
そう言われ、その時はまだ先の事だ…と黙っていた。

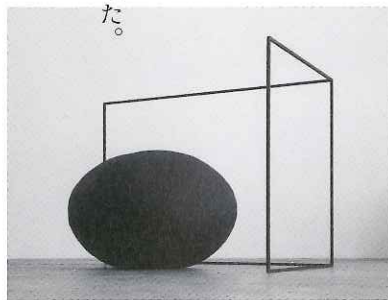
前は2003年パラミタミュージアム開館記念の展覧会だった。

あれから10年、本当にあつという間に時が過ぎ今展を迎えた。

今回はこの10年の間に国内外で制作、発表してきた膨大な作品数の中から部分的に切り取った形にはなるが、うつわから生活道具、

いろいろな成形、焼成方法による陶作品や硝子を使った作品、金属作品、樹脂や漆喰など異素材を使った立体作品からスツールやテーブルなどの家具作品まで多岐に渡る作品群での展覧会になるだろう。

会場も空間を大きな部屋に見立ててそれぞれの部屋を設え的に構成し作品がより効果的にみえる様な展示にしたいと思う。



内田鋼一



## paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

http://www.paramitamuseum.com E-mail/office@paramitamuseum.com

▶お車をご利用の場合

東名阪「四日市I.C.」より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。

▶無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)

▶電車をご利用の場合

近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。

▶全館バリアフリー、車椅子常備



photograph: Tadayuki Minamoto design: Tatsuya Arizawa

[次回展示のお知らせ]

### 第8回パラミタ陶芸大賞展

2013年7月6日[土]～9月1日[日]

今回で8回目を迎える陶芸大賞展。全国的美術関係者から推薦された、伊藤秀人・金理有・竹村友里・林茂樹・前田昭博・前田正博の6名の作家がノミネートされています。どうぞご期待下さい。

### 琳派・若冲と雅の世界展 細見美術館コレクション

京都 細見美術館が所蔵する日本美術コレクションから俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一など琳派を代表する作家たちと奇想の天才絵師・伊藤若冲を中心に展示します。